

## 北広島市議会女性議員の会「4TINK」活動中 市民との対話から政策提案へつなげるために

北広島市議会では、二〇〇七年の改選後から本格的に議会改革の協議がはじまり、翌年、正副議長・会派代表・幹事長を委員構成とする「議会改革活性化協議会」を設置、多くの改革項目を検討しました。こうして一般質問および代表質問の

一問一答、議員間の討議、議会インターネット中継などが実現しました。現在は、各会派を代表する委員で構成する「議会改革推進会議」において協議が継続されています。

けれども、会議の位置づけが不明瞭で、正式な議事録はとられず、また市民が傍聴することもありません。議会側からの情報公開と市民参加をすすめるための議会報告会や市民との意見交換会については、複数の会派から提案されていますが、協議は一進一退、実現には至っていません。

その背景には、議員はあくまでも「個人」で市民の御用聞きをして、自ら提案していくものであり、「議会」として市民の声を聞く必要があるのかという強い意見があります。開かれた議会をめざし、議会改革をすすめるようにも全会派の合意がないと改革事項は決定されず、時間ばかりが過ぎしていきます。

さて、二〇一六年度版の内閣府の男女共同参画白書によれば、全国の自治体議会の女性議員の割合は一二％。北広島市議会は、現在定数二二名の

うち女性議員が七名で三二％と全国平均より高く、全道の市の中でも歌志内市、江別市に次いで三番目に高い比率となっています。

七名の女性議員は、公明党、共産党、民主・市民クラブ（民進党）、自由新生クラブ（自民党）、市民ネットワーク北海道、無党派と、それぞれ所属する会派は違いますが、日々の活動から女性同士なら会派を超えてつながることができることを確認し、ゆるやかに結束することになりました。

結成した会の名前は、それぞれの名前のイニシャルを組み合わせた「4TINK（フォーティンク）」と名づけました。4TINKの活動は、まず議会全体としては実現できていない、市民とつながり、市民の声を聞く場をつくることからはじめようと不定期のまちづくりカフェを開催しています。男女共同参画の時代ですが、まずは女性同士で話しやすい雰囲気大切にしよう、いまのところ参加者は女性限定にしています。参加者からは、男性がいるとモノ怖じしてしまい話じらひけれど、女性同士なら気軽に思いを伝えられると好評です。

まちづくりカフェは地域のカフェを貸切り、コーヒーとお菓子を楽しみながら、介護やごみ問題、子育てなど生活に関わる身近な問題について自由に意見交換を行っています。これまで開催し

た三回のまちづくりカフェでは、「市内に産科がなく、出産できないのは子育てにやさしいまちとはいえない」「公共交通のあり方を見直すべき」「今後の市のまちづくりビジョンがみえない」などたくさんの意見が出され、参加者は課題を共有することができました。また一方で、「女性議員が七人もいるのは心強い、頑張つてほしい」など激励の声もありました。

カフェの継続を求める声もあり、働く女性からは、夜の開催も考えてほしいという要望があります。思い切つて、ワイン片手に「ほろ酔いまちづくりカフェ」などやわらかな企画もいかもしれません。今後は、時間帯や地域など多様な開催形式やより多くの市民にまちづくりカフェの存在を知ってもらい、参加者を増やす手段を模索していかなければと考えています。そして最終的には、4TINKとして、市民から聞き取った意見を参考に女性ならではの視点で、このまちに必要な政策を立案し提案することを目標にしています。

4TINKの活動は、七人の議員それぞれに個別の活動があるため、日程調整などスムーズにいかないこともありますが、会派に関係なくゆるやかにつながる活動は、会派制に縛られたこれまでの議会のあり方に少なからず刺激を与え、「議会は変わらなければ」という意識を喚起することになるのではないのでしょうか。そして議員個人としてだけではなく、議会が一丸となって市民全体の福祉の向上をめざす活動にひろげていきたいものです。

へたなへ ゆうこ・北広島市議会議員／  
市民ネットワーク北海道